

様式第6号（第18条関係）

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和5年5月22日

宮崎市長 清山知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大字浮田3000-1  
名 称 生目地区振興会  
代表者の氏名 会長 長友一生  
電話番号 48-1201

令和4年4月1日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告書
- (ロ) 収支決算書又は収支決算書
- (ハ) 事業別収支計算書
- (ニ) 積立金管理状況報告書
- (ホ) その他

(様式第5号)

令和4年度 事業実施報告・収支決算書

生目地域自治区

生目地区振興会

1 総括

コロナ禍での事業展開のため集合して行う一部の研修会等は制約を受けたが、各部会の主要事業は工夫を重ねて概ね実施することができた。  
今後のまちづくりの進め方として、地域のニーズに合った新たな事業の必要性を見出す一年であった。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項目	予算	決算	差	備考
地域コミュニティ活動交付金	2,963,000	2,963,000	0	
繰越金	1,295,152	1,295,152	0	
自己資金	460,848	462,022	1,174	
合計	4,719,000	4,720,174	1,174	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	地域防災事業	13年目	148,000	114,389	▲ 33,611	
〃	生目っ子見守り事業	13年目	268,000	102,604	▲ 165,396	
〃	防犯パトロール事業	13年目	390,000	360,897	▲ 29,103	
〃	有害鳥獣被害防止事業	11年目	55,000	32,296	▲ 22,704	
福	居場所づくり事業	4年目	263,000	98,710	▲ 164,290	
〃	レクリエーション大会事業	8年目	170,000	68,487	▲ 101,513	
環	自然と環境を守る事業	12年目	502,000	396,460	▲ 105,540	
再	半ぴどん顕彰事業	11年目	120,000	91,675	▲ 28,325	
〃	生目音頭保存事業	11年目	354,000	326,490	▲ 27,510	
伝	里神楽事業	11年目	190,000	123,032	▲ 66,968	
〃	文化財広報活動事業	11年目	323,000	26,880	▲ 296,120	
他	広報運営事業	12年目	1,936,000	2,004,409	68,409	
	繰越金			973,845	▲ 972,671	
	合計		4,719,000	4,720,174	1,174	

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	地域防災事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 3. 地域の安心安全づくり ◎地域の防犯、防災、交通安全等の取組 自分たちの命は自分たちで守る・・・自助 地域ぐるみで災害から人命、財産を守る・・・共助 防災意識の向上を図り、活動を展開する。														
目的 (期待される効果)	防災訓練等を通して、地域の安心・安全なまちづくりを推進する。														
事業内容・手段	(1) 図上訓練 会場：生目地区交流センター 多目的ホール 実施時期：6月5日 内容：図上訓練 参加人数：63人 (2) 総合防災訓練事前研修 コロナ禍のため中止 (3) 総合防災訓練 会場：生目地区交流センター、各自治公民館 実施時期：9月4日 参加人数：1,029人 内容：情報伝達、各地区での防災訓練 (4) 生目中学校防災学習の支援 会場：生目中学校体育館 実施時期：10月14日 参加人数：201人 内容：図上訓練 他 (5) 避難所運営マニュアル作成 会場：地域会議室 実施時期：3月7日 内容：所作成にあたっての打合せ														
事業費	114,389円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,251人</td> <td>207人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>42人</td> <td>18人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,293人</td> <td>225人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	1,251人	207人	スタッフ	42人	18人	合計	1,293人	225人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	1,251人	207人													
スタッフ	42人	18人													
合計	1,293人	225人													
住民の声 (アンケートの結果等)	特になし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項		
		本年度	前年度				本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	平成17年に水害を経験していることから、ニーズは高い。自治会長会で意見交換。	広報	⑤事業の周知	B	B	振興会の広報誌フェイスブックチラシ		
	②住民の参加	A	A	生目中学校一年生と職員の若い世代が参加。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B	将来を担う若い世代が毎年防災研修を受講することは、生目の防災についての課題解決に大いに寄与する。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会からの要望を受け取り組んでいる事業である。	事業の効果	⑦住民の満足度			B	B	住民が参加する行事ができなかった。
	④各種団体との連携	A	A	自主防災隊 生目地域センター SVC生目 生目地区防災士			事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>									
		特になし									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>									
		<意見への対応>						対応		未・済	
		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>									
		<意見への対応>						対応		未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

### 3 実施報告

#### [1] 防犯・防災に係る事業

事業名	生目っ子見守り事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標 3. 地域の安心安全づくり ◎地域の防犯、防災、交通安全等の取組 自分たちの命は自分たちで守る・・・自助 地域ぐるみで災害から人命、財産を守る・・・共助 防災意識の向上を図り、活動を展開する。</p>														
目的 (期待される効果)	生目っ子見守り事業を通して、地域の安心・安全なまちづくりを推進する。														
事業内容・手段	<p>(1) 児童の登下校時の見守りパトロール活動 実施時期：学校休業日を除く毎週月～金曜日 7:10～8:00 15:00～17:00 内 容：登下校時の見守り、徒歩・自転車での地域のパトロール 参加人数：見守り隊 173人</p> <p>(2) 見守り隊員の講習会 実施時期：2月22日 内 容：見守り活動中の安全対策、道路交通法改正についての講習 参加人数：32人</p> <p>(3) 見守り用具の整備 内容：交通安全旗等の補充</p>														
事業費	102,604円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>9,600人</td> <td>8,000人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>9,600人</td> <td>8,000人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	9,600人	8,000人	スタッフ			合 計	9,600人	8,000人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	9,600人	8,000人													
スタッフ															
合 計	9,600人	8,000人													
住民の声 (アンケートの結果等)	保護者や学校から感謝の声が寄せられる。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	各地区の実情に合った組織、運営にするため、自治会が中心となっていて、自治会定例会などで意見を集約。	広報	⑤事業の周知	B	B	振興会の広報誌 フェイスブック チラシ	
	②住民の参加	B	B	活動の時間帯が親世代ではなかなか難しく、高齢者がほとんどである。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	生目地区を網羅するまちづくりならではの取り組みである。	事業の必要性	⑦住民の満足度			A	A
	④各種団体との連携	A	B	自治会 学校 PTA さんさんクラブ			事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 特になし								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済		
		<意見への対応>								
		<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>					対応	未・済		
		<意見への対応>								

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	防犯パトロール事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標            3. 地域の安心安全づくり            ◎地域の防犯、防災、交通安全等の取組            自分たちの命は自分たちで守る・・・自助            地域ぐるみで災害から人命、財産を守る・・・共助            防災意識の向上を図り、活動を展開する。</p>														
目的 (期待される効果)	防犯パトロール事業を通して、犯罪を未然に防止し、地域の安全を守る。														
事業内容・手段	<p>(1) 防犯パトロールの実施            実施時期：令和4年4月1日～令和5年3月31日            内 容：生目地域自治区を青パト8台でパトロール            1台につき月平均9回            参加人数：延べ864人</p>														
事業費	360,897円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>864人</td> <td>939人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>864人</td> <td>939人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	人	人	スタッフ	864人	939人	合 計	864人	939人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	864人	939人													
合 計	864人	939人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>犯罪の抑止力になり、心強いとの声が多い。            青パト車を見ると安心感がある。時間帯も合っていてありがたいと感じる。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	学校や保護者、自治会からの要望で事業を立案、推進している。	広報	⑤事業の周知	B	B	振興会の広報誌 フェイスブック チラシ
	②住民の参加	B	B	若い隊員を募集しているが、パトロールの時間と仕事の時間が重なりなかなか難しい。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	生目地区を網羅するまちづくりならではの取り組みである。			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	B	B	生目地区社協 生目地区青少協 学校 交番	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 特になし							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業報告）> 地域の安全安心、住みやすい地域作りの為に継続していただきたい。若い人の参加を希望する。						対応	未・済	
	<意見への対応> 以前からパトロール隊員の確保を依頼しているが、さらに各種の会合等で、強く要請していきたい。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



3 実施報告

[1] 防犯・防災に係る事業

事業名	有害鳥獣被害防止事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標 3. 地域の安心安全づくり ◎安心安全なまちづくりを目指し、各種の予防活動を行う。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>猪や猿などの有害鳥獣による農作物や人への被害を防止し、安心安全なまちづくりを推進する。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 有害鳥獣についての勉強会 会 場：生目地区交流センター 実施時期：7月19日 内 容：有害鳥獣についての講演会 参加人数：30人</p> <p>(2) 有害鳥獣捕獲用罟の購入、管理 会 場：生目地区内 実施時期：通年 内 容：罟の管理</p>														
事業費	32,296円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和 4年度</th> <th>令和 3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>30人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>5人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>35人</td> <td>5人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和 4年度	令和 3年度	一般参加者	30人	人	スタッフ	5人	5人	合 計	35人	5人
年 度	令和 4年度	令和 3年度													
一般参加者	30人	人													
スタッフ	5人	5人													
合 計	35人	5人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<p>有害鳥獣被害防止の啓発活動で「猿」が少なくなった。</p>														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	有害鳥獣の被害をゼロにするのが住民の願いである。	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシの配布（保育所、公民館、学校、公立公民館、自治会）、フェイスブック
	②住民の参加	B	B	収穫しない果樹などを放置しないなどの努力をしている。		事業の効果	⑥課題解決への作用	B	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会連合会からの要望を受け、取り組んでいる事業である。			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	B	B	野生猿対策組合 猿パトロール隊 自治会連合会	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> なし								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業報告）> 有害鳥獣の被害は変わらずだが、令和4年度はこれといった活動はできなかったように感じる。  <意見への対応> イノシシの被害が増加傾向であるので、5年度は、イノシシに特化したパンフレットを作成し、地域に配布する。				対応		未・済		
	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>  <意見への対応>				対応		未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	居場所づくり事業	実施年数	4年目												
事業期間	開始：平成31年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 地域の絆づくり</p> <p>◎子供から高齢者、要支援者等を地域ぐるみで支える福祉のまちづくり</p>														
目的 (期待される効果)	<p>高齢者の介護予防や引きこもり、孤独死の予防。 子どもから高齢者まで世代を超えた交流や地域コミュニティの確立。</p>														
事業内容・手段	<p>1) ①地域食堂の実施 会 場：跡江公民館他 実施時期：12回 内 容：地域食堂の開催 参加人数：696人</p> <p>②フードバンクの実施（民児協と共催） 会 場：下小松地区 実施時期：通年</p> <p>(2) ふれあい会食会の実施 会 場：①下小松自治公民館 ②跡江自治公民館 実施時期：①7月2日 ②10月16日 内 容：高齢者を対象とした会食会、介護予防の講話、健康体操等 参加人数：①48人 ②47人</p>														
事業費	98,710円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>789人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>2人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>791人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	789人		スタッフ	2人	30人	合 計	791人	30人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	789人														
スタッフ	2人	30人													
合 計	791人	30人													
住民の声（アンケートの結果等）	特になし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	2025年問題、高齢化率の高さなどニーズは高い。	広報	⑤事業の周知	B	B	広報誌 フェイスブック
	②住民の参加	A	B	新型コロナ感染症拡大防止の為住民が参加できる行事は何もできなかった。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり推進委員会ならではの取り組みである。	⑦住民の満足度				B
	④各種団体との連携	A	A	生目地区社協 生目・小松台地区 地域包括支援センター 宮崎市社協 さんさんクラブ			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等>							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業報告）> 「ふれあい会食会」は社協の「ふれあい会食会」と同じ名称で混乱を招く恐れがあり、名称は変更すべきだった。 <意見への対応> 社会福祉協議会事業と同様な事業は廃止する。				対応		未・済		
	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業報告）> 子ども食堂は跡江の方が部屋割りもきちんとして頑張っている。子どもより大人のほうが割と多いのが気になる。 <意見への対応> こども食堂は、地域限定であるのでまちづくり事業としては、次年度は取り組まない。				対応		未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

3 実施報告

[2] 地域福祉に係る事業

事業名	レクリエーション大会事業	実施年数	8年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 地域の絆づくり</p> <p>◎地域におけるコミュニティ保持</p> <p>◎地域間・世代間の交流を深め、さらなる絆づくりに取り組む。</p>														
目的 (期待される効果)	地域の絆づくりを推進する。														
事業内容・手段	<p>内 容：①ミニバレーボール大会 ②グラウンドゴルフ大会 ③健康スポーツ大会（コロナ禍のため中止） ④生目小学校学習支援</p> <p>実施時期：①10月9日 ②11月18日 ④11月26日</p> <p>会 場：①生目地区交流センター多目的ホール ②生目古墳群史跡公園 ④生目小学校体育館</p> <p>参加人数：①83人 ②127人 ④3年生191人・4年生179人</p>														
事業費	68,487円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>558人</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>22人</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>580人</td> <td>125人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	558人	120人	スタッフ	22人	5人	合 計	580人	125人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	558人	120人													
スタッフ	22人	5人													
合 計	580人	125人													
住民の声（アンケートの結果等）	なし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	地域からの要望が直接寄せられる。	広報	⑤事業の周知	A	A	広報誌 フェイスブック チラシ
	②住民の参加	B	B	コロナ禍のため制約が多い。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各団体からの要望を受け取り組んでいる事業である。			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	A	A	生目地区さんさんクラブ連合会	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> なし								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業報告）> 「生目小学校学習支援」は文化部会にも同名称で2件記載されており、統一か名称変更すべきだった。						対応	未・済	
	<意見への対応> 本来は、オープンスクールの事業であり、5年度は生目かるたやむかし遊びなどを実施する予定である。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>						対応	未・済	
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[3] 環境に係る事業

事業名	自然と環境を守る事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 地域の活力づくり ◎地域の自然、産業、文化等の資源活用による地域の活力づくり														
目的 (期待される効果)	里山・大谷川遊歩道ウオーキング大会やホタル観察会を通して自然環境保護に対する理解を深める。 自然のすばらしさを地区内外に発信し、地域の活力づくりにつなげる。														
事業内容・手段	<p>(1) ホタル観賞会 会 場：宮の下川上流 実施時期：5月7日(土) 内 容：ホタルの生態学習と観賞 参加人数：109人</p> <p>(2) 里山遊歩道整備 会 場：①妙円寺石塔群 ②大谷川遊歩道 ③里山遊歩道 実施時期：①6月24日 ②8月11日 ③2月19日 内 容：草刈り作業、遊歩道整備 参加人数：①6人 ②9人 ③12人</p> <p>(3) 石塚城址公園の整備 会 場：石塚城址公園 実施時期：4月13日、6月11日、7月16日、8月11日、10月15日 内 容：除草作業、花の植栽等 参加人数：延べ57人</p> <p>(4) 生目の里山・史跡を巡る散策会 会 場：大谷川・里山遊歩道 実施時期：2月26日 内 容：里山散策会 参加人数：58人</p> <p>(5) 大谷川環境美化活動 会 場：大谷川流域 実施時期：11月20日 内 容：草刈り、ゴミ拾い、清掃活動 参加人数：68人</p>														
事業費	396,460円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和 4年度</th> <th>令和 3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>162人</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>81人</td> <td>72人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>243人</td> <td>144人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和 4年度	令和 3年度	一般参加者	162人	72人	スタッフ	81人	72人	合 計	243人	144人
年 度	令和 4年度	令和 3年度													
一般参加者	162人	72人													
スタッフ	81人	72人													
合 計	243人	144人													
住民の声(アンケートの結果等)															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	事業実施後に参加者に意見を聞き、次年度の事業を計画、実施している	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシ配布 公立公民館に設置 フェイスブック スーパーにチラシ掲示
	②住民の参加	A	A	コロナ禍の中なので、学校には周知していなかったが、多くの子供たちが参加した。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	学校や地域の要望を受け、取り組んでいる事業である。	事業の必要性	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	B	B	生目地区自治会連合会			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<p>&lt;良かった点や改善した点等&gt;                      コロナ禍の中、ホテル観賞会を工夫して実施することができた。</p>								
地域協議会からの意見への対応	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和5年3月・事業報告）&gt;                      石塚城址公園はきちんと整備されているのに見学者が少ない。ホテル観賞会は子どもが多く楽しいが、早く帰る人も多かった。                      &lt;意見への対応&gt;                      石塚城址公園は、今後、地域の公園として啓発に努めていく。</p>				対応	未・済			
	<p>&lt;地域協議会からの意見（令和5年3月・事業報告）&gt;                      これだけの事業内容が実施されたが、除草作業、整備作業、案内等とかなりの労務である。役員の皆さまに敬意を表する。                      &lt;意見への対応&gt;                      夏場の除草作業は特に、重労働であることから、5年度から、斜面の草刈り作業は、専門業者に委託する予定である。</p>				対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



3 実施報告

[4] 地域再生に係る事業

事業名	半びどん顕彰事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 地域の活力づくり ◎地域の自然、産業、文化等の資源活用による地域の活力づくり														
目的 (期待される効果)	魅力的な生目の「たから」を活かした地域の活力づくりを推進する。 「半びどん」の知名度を上げ、地域おこしにつなげる。														
事業内容・手段	(1) 生目小学校学習支援 会場：生目小学校体育館 実施時期：7月21日 内容：はんびどん紙芝居 参加人数：105人(4年生)  (2) 紙芝居の作成、吹き込み(10月～12月)  ・上演については、コロナ感染防止のため会場が確保できず未実施。														
事業費	91,675円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>101人</td> <td>124人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4人</td> <td>46人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>105人</td> <td>170人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	101人	124人	スタッフ	4人	46人	合計	105人	170人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	101人	124人													
スタッフ	4人	46人													
合計	105人	170人													
住民の声(アンケートの結果等)	職員や児童から感謝された。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	特になし	広報	⑤事業の周知	B	B	広報誌 フェイスブック
	②住民の参加	A	A	コロナ禍で大人の参加する事業は中止されたが、たくさんの子供たちが「半ぴどん」を身近に感じてくれた		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	B	地域おこしにはまたとない事業である。			⑦住民の満足度	B	B
	④各種団体との連携	B	B	生目小学校 市教育委員会	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 積極的に、はんぴどんマグネットシールをアピールし自動車に貼って走っている。 (計30台程)								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和5年3月 事業報告 ）> 学校もイベントがなかったため活動ができなかったが、今年は今の低学年にも見てもらう機会をつくる準備ができたと思う。 <意見への対応> 特に対応なし						対応	未・済	
	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>  <意見への対応>						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[4] 地域再生に係る事業

事業名	生目音頭保存事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 地域の絆づくり ◎地域間・世代間の交流を深め、さらなる絆づくりに取り組む。														
目的 (期待される効果)	生目音頭の保存・継承を推進する。														
事業内容・手段	(1) 施設や小学校、地域等での生目音頭の指導 (2) 「生目ふるさとまつり」での総踊り 会場：生目古墳群史跡公園 実施時期：10月10日 内容：生目音頭の継承 参加人数：30人														
事業費	326,490円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>22人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>8人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	22人	20人	スタッフ	8人	10人	合計	30人	30人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	22人	20人													
スタッフ	8人	10人													
合計	30人	30人													
住民の声 (アンケートの結果等)	なし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	学校や地域の要望を受け取り組んでいる。	広報	⑤事業の周知	B	B	広報誌 フェイスブック
	②住民の参加	B	B	今年度はコロナ禍で多くの住民の参加は得られなかった。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	まちづくり推進委員会ならではの事業である。	事業の効果	⑦住民の満足度			B
	④各種団体との連携	A	A	小学校 保育園・幼稚園 施設等			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> 音源を新しくCDに起こし、保存会メンバーと合同練習を行った。								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（ 年 月・ ）>				対応	未・済			
	<意見への対応>								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>				対応	未・済			
	<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[6] 伝統文化に係る事業

事業名	文化財広報活動事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 地域の活力づくり ◎地域の自然、産業、文化等の資源活用による地域の活力づくり。														
目的 (期待される効果)	文化財の掘り起こしと整備、保存。 生目の「たから」を活かした地域の活力づくりを推進する。														
事業内容・手段	<p>(1) トコロジスト養成講座の開催 会 場：生目地区交流センター 実施時期：①10月27日 ②11月17日 内 容：地層や植物についての勉強 参加人数：①22人 ②19人</p> <p>(2) 史跡めぐりウォーキング（雨天のため中止）</p> <p>(3) 妙円寺まつり（コロナ感染拡大防止のため中止）</p> <p>(4) 生目南中・生目小学校学習支援 会 場：生目南中学校 : 生目小学校 実施時期：11月20日 : 11月26日 内 容：生目地区史跡探訪 : 大谷川・生目地区史跡について</p> <p>(5) 史跡の案内 本年度はなし</p> <p>(6) ブルーベリー栽培 移植後の成長なく枯れる</p>														
事業費	26,880円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>447人</td> <td>257人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>11人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>458人</td> <td>330人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者	447人	257人	スタッフ	11人	73人	合 計	458人	330人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者	447人	257人													
スタッフ	11人	73人													
合 計	458人	330人													
住民の声（アンケートの結果等）															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	終了時にアンケートを取り、次年度の事業を計画・実施している。	広報	⑤事業の周知	B	B	チラシの世帯配布 フェイスブック 広報誌
	②住民の参加	A	A	講座にも散策会にも大勢の人が参加してくれた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	協議会からの要望を受け、取り組んでいる事業である。			⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	B	各自治会 学校	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<良かった点や改善した点等> なし								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済			
	<意見への対応>					未・済			
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>				対応	未・済			
	<意見への対応>					未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

[6] 伝統文化に係る事業

事業名	里神楽事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 地域の活力づくり ◎地域の自然、産業、文化等の資源活用による地域の活力づくり。														
目的 (期待される効果)	伝統芸能である里神楽の保存と継承を推進する。														
事業内容・手段	(1) 神楽開催の広報 各自治会ともコロナ感染防止策ではほぼ無観客開催であったため 積極的な広報は行わなかった。またリーフレットの作成は行わず、「生目地区春神楽日程表」を作成し、一部関係者に配布して情報共有を行った。														
事業費	123,032円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td></td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td></td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>人</td> <td>150人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和4年度	令和3年度	一般参加者		人	スタッフ		150人	合 計	人	150人
年 度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者		人													
スタッフ		150人													
合 計	人	150人													
住民の声 (アンケートの結果等)	なし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度				本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	各集落の伝統芸能である里神楽の保存と継承は住民すべての願いである。	広報	⑤事業の周知	B	B	フェイスブック 広報誌	
	②住民の参加	B	B	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべての地区で無観客開催となり残念だった。			事業の 効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会、神楽保存会の要望を受け、取り組んでいる事業である。	⑦住民の満足度				B	B
	④各種団体との連携	B	B	各自治会 神楽保存会			事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> なし								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和5年3月・事業報告）> 提供自治会に、神楽色紙、半紙がまちづくりから提供されている事を物品と一緒に案内文を添えたほうが良い。  <意見への対応> 当初から、まちづくり事業の案内文を添付して対応している。					対応	未・済		
		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>  <意見への対応>					対応	未・済		

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。



3 実施報告

[8] その他の事業

事業名	広報運営事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	/														
目的 (期待される効果)	まち推の広報と円滑な運営。														
事業内容・手段	まち推の広報、運営。														
事業費	2,004,409円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>4人</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和4年度	令和3年度	一般参加者			スタッフ	4人	36人	合計	4人	36人
年度	令和4年度	令和3年度													
一般参加者															
スタッフ	4人	36人													
合計	4人	36人													
住民の声 (アンケートの結果等)	なし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				誌	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	/	/	該当せず	広報	⑤事業の周知	/	/	広報誌 フェイスブック
	②住民の参加	/	/	該当せず			事業の 効果	⑥課題解決への作用	/
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	/	/	該当せず	⑦住民の満足度	/			/
	④各種団体との連携	/	/	該当せず		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 経費の削減に努めた。							
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>				対応	未・済	<意見への対応>		
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済	<意見への対応>

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

## 事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	地域防災事業
-----	--------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	114,389	
3	自己資金		
4	合計(A)	114,389	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳	
4	需用費	112,149	図上訓練用地図(自治会 用) @ 660 × 6枚	3,960
			生目中学校図上訓練用地図 @ 660 × 27枚	17,820
			お茶代 @ 2,000 × 4箱	8,000
			図上訓練用シート 15枚	13,392
			ゴミ袋他消耗品	14,627
			訓練用毛布 10枚	42,350
			訓練時スタッフ用弁当代 @ 600 × 20個	12,000
5	役務費	2,240	生目中学校図上訓練案内状送付 16通	2,240
9	原材料費			
10	備品購入費			
11	積立金			
12	合計(B)	114,389		

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	生日っ子見守り事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	102,604	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	102,604	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳	
4	需用費	87,554	幟旗 @ 880 × 30	26,400
			手袋 @ 165 × 60	9,900
			幟旗ポール用栓 @ 480 × 15	7,200
			ホッカイロ 173名分	44,054
5	役務費	15,050	ボランティア保険料 @ 350 × 43	15,050
10	備品購入費	0		
11	積立金	0		
12	合計 (B)	102,604		

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	防犯パトロール事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	360,897	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	360,897	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳		
4	需用費	360,897	第1 四半期ガソリン代	8 台分	124,490
			第2 四半期ガソリン代	8 台分	80,977
			第3 四半期ガソリン代	8 台分	93,754
			第4 四半期ガソリン代	8 台分	61,676
5	役員費	0			
9	原材料費	0			
10	備品購入費	0			
11	積立金	0			
12	合計 (B)	360,897			

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

生日地域自治区  
生日地区振興会

事業名	有害鳥獣被害防止事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	32,296	
3	自己資金	0	
4	合計(A)	32,296	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
4	需用費	3,960	チラシ用紙代	3,960
5	役員費	0		
9	原材料費	0		
10	備品購入費	28,336	踏み板式トラップ 5台	28,336
11	積立金	0		
12	合計(B)	32,296		

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	居場所づくり事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	98,710	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	98,710	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳	
2	報償費	13,000	会食会講師謝礼 (@10,000×1、@3,000×1)	13,000
4	需用費	66,928	ふれあい会食会お茶代	2,968
			ふれあい会食会弁当代 (下小松)	27,000
			ふれあい会食会弁当代 (跡江)	33,000
			文具、用紙代	3,960
5	役務費	18,782	会食会傷害保険料 1回分	2,000
			子ども食堂保険料 10回分	16,782
7	使用料及び賃借料	0	子ども食堂公民館使用料 12回分	0
10	備品購入費	0		
12	合計 (B)	98,710		

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	レクリエーション大会事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	68,487	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	68,487	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳	
4	需用費	32,287	賞品代	14,035
			ボール代	8,052
			スタッフ弁当代 @ 600 × 17	10,200
5	役務費	5,400	ミニバレーボール大会傷害保険料	2,400
			グラウンドゴルフ大会傷害保険料	3,000
6	委託料	30,800	グラウンドゴルフ大会テントリース設営撤去	30,800
1 2	合計 (B)	68,487		

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---



## 事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	自然と環境を守る事業
-----	------------

## (1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	396,460	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	396,460	

## (2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
4	需用費	263,427	チラシ用紙代	11,880
			刈払機替刃代	12枚 25,080
			刈払機混合油代	45ℓ 7,333
			除草作業時熱中症対策飲み物代	10,000
			石塚城址公園転落防止ロープ	478
			石塚城址公園整備杭代	177,056
			里山散策完歩賞	30,000
			春フジバカマ種子	1,600
5	役務費	33,233	ホテル観賞会傷害保険料	2,000
			除草作業時傷害保険料	4回 27,240
			大谷川清掃傷害保険料	2,000
			里山散策会傷害保険料	1,333
			振込手数料	660
6	委託料	96,800	石塚城址公園看板作成設置	96,800
7	使用料及び賃借料	3,000	ホテル観賞会公民館使用料	3,000
12	合計 (B)	396,460		

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	半びどん顕彰事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	91,675	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	91,675	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳	
2	報償費	10,000	紙芝居作画代 10,000	
4	需用費	81,675	はんびどんマグネット 20枚 70,400	
			紙芝居収録用DVD 250枚 11,275	
5	役員費	0		
9	原材料費	0		
10	備品購入費	0		
11	積立金	0		
12	合計 (B)	91,675		

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	生目音頭保存事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	296,856	
2	繰越金	29,634	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	326,490	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳	
4	需用費	20,220	生目音頭テープのお礼	1,620
			スタッフ用弁当代 @ 600 × 31	18,600
5	役務費	6,270	ボランティア保険料 (新規) @ 350 × 10	3,500
			傷害保険料	2,770
7	使用料及び賃借料	300,000	テント・テーブル他リース料	300,000
10	備品購入費	0		
11	積立金	0		
12	合計 (B)	326,490		

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	里神楽事業
-----	-------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	123,032	
2	繰越金	0	
3	自己資金	0	
4	合計(A)	123,032	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
4	需用費	123,032	神楽消耗品代(半紙、他)	28,762
			神楽消耗品代(色紙5色)	94,270
5	役員費	0		
9	原材料費	0		
10	備品購入費	0		
11	積立金	0		
12	合計(B)	123,032		

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

生目地域自治区  
生目地区振興会

事業名	文化財広報活動事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	14,880	
2	繰越金	0	
3	自己資金	12,000	カルタ売り上げ
4	合計 (A)	26,880	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳	
2	報償費	9,000	講師謝礼 @ 3,000 × 3人	9,000
4	需用費	11,880	チラシ用紙	11,880
5	役務費	3,000	トコロジスト講座傷害保険料	1,000
			史跡巡りウォーキング傷害保険料	2,000
7	使用料及び賃借料	3,000	トコロジスト講座公民館使用料@3000×1回	3,000
1 2	合計 (B)	26,880		

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	広報運営事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	1,554,387	
2	繰越金	0	
3	自己資金	450,022	預金利息
4	合計(A)	2,004,409	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	手当	169,100	事務局時間外手当 @ 950 × 178 時間 169,100
3	旅費	5,000	まちづくり県民の集い @ 1,000 × 5人 5,000
4	需用費	724,062	振興会だより印刷代 @ 107,800 × 2回 215,600
			プリンタートナー・ドラム代 95,980
			ファイル他文具代消耗品代 36,395
			新型コロナウイルス感染予防対策費 3,387
			部会用お茶代 24,000
			印刷機消耗品代(インク、マスター) 348,700
5	役務費	112,423	はがき・切手代 6,300
			電話・インターネット通信費 85,413
			インターネット通信(移転に伴う工事費含む) 9,680
			ボランティア活動保険 @ 350 × 7 2,450
			パソコンソフト起動障害対応(3台) 8,580
6	委託料	257,400	移転に伴うネットワーク構築作業及び工事部品 96,800
			移転に伴うネットワーク調整 67,100
			倉庫移転設置料 93,500
7	使用料及び賃借料	584,634	コピー機使用料 584,634
10	備品購入費	151,790	DVD対応ソフト 13,200
			OKIレーザープリンター 98,000
			タイトルブレーン 40,590
12	合計(B)	2,004,409	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第7号)

積立金管理状況報告書

生目地域自治区

生目地区振興会

積立金名称	災害時積立金
-------	--------

積立金の収支 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額	1,000,771	
2	積立額	0	
3	取崩額	0	
4	雑収入	8	預金利息
5	合計	1,000,779	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計	0	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合計	0	

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和5年5月22日

宮崎市長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大字浮田3000-1  
名 称 生目地区振興会  
代表者の氏名 会長 長友一生  
電話番号 48-1201

令和4年4月1日付けで交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、  
決算において、973,845円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越しますので届  
け出ます。

添付書類

令和4年度収支決算書